

## 製品安全データシート

## Magnesium Hydroxide Products (MagChem)

## 1. 化学物質等及び会社情報

製品名	: Magnesium Hydroxide Products (MagChem)
商品名	: MagChem MH 10 MagChem MH 10UF MagChem MH 10 LC MagChem MH 10 ULC
製品コード	: データなし。
薬品使用法	: MagChem水酸化マグネシウム製品は、ボイラーやガスタービンの燃料添加物および腐食防止剤、潤滑用添加物、刺激の少ない歯科用研磨材および色素、pH中和剤および水中の重金属 沈殿剤、排液および土壌の処理剤、爆発性物質への添加剤、送気管ガス洗浄用アルカリ、結着剤、掘削泥の粘度調整剤、肥料など、産業の様々な応用分野で使用されています。
化学式	: $Mg(OH)_2$
物質または混合物の確認された用途および警告される用途	
該当せず。	
製造業者	: Martin Marietta Magnesia Specialties 1800 Eastlake Road Manistee, Michigan 49660, USA 電話: +001 410 780 5500
本SDS担当者の電子メールアドレス	: regulatory.inquiry@martinmarietta.com
緊急連絡用電話番号(受付時間)	: CHEMTREC, U.S. : 1-800-424-9300 国際通話: 0800-300-5842 (24/7)

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 分類されていない。

## GHSラベル要素

注意喚起語	: 注意喚起語なし。
危険有害性情報	: 重大な作用や危険有害性は知られていない。
注意書き	
安全対策	: 該当せず。
応急措置	: 該当せず。
保管	: 該当せず。
廃棄	: 該当せず。

分類されていない他の危険有害性 : データなし。

## 3. 組成及び成分情報

物質/製剤	: 混合物
化学物質を特定する他の方法	: 水酸化マグネシウムパウダー

## CAS番号/他の特定名

CAS 番号	: 該当せず。
ENCS 番号	: データなし。
ISHL 番号	: データなし。

成分名	%	CAS 番号	官報公示整理番号(化審法)	労働安全衛生法
水酸化マグネシウム その他:ケイ素酸化物、鉄、硫酸塩、アルミニウム・カルシウム	98.8 1	1309-42-8 混合物	(1)-386	データなし。

提供者の現在の知識の範囲および該当する濃度では、本製品の補足的な成分の中には健康または環境に対して有害危険性であると分類されるためこのセクションで報告が義務づけられている成分は含まれていません。

### 3. 組成及び成分情報

職業性暴露限界がある場合、セクション8に記載されている。

### 4. 応急措置

#### 必要な応急処置の説明

- 目に入った場合 : 直ちに多量の水で、時々両まぶたを広げながら、20分以上洗眼する。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
- 吸入した場合 : 暴露した被災者を新鮮な空気のある場所へ移動させる。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
- 皮膚に触れた場合 : 接触した場合、汚染された衣服および靴を脱ぎ、直ちに多量の水で皮膚を20分以上洗浄すること。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口を洗浄する。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。症状が現れたら、医師の診断を受ける。

#### 最も重要な急性および遅発性の症状/影響

##### りうる急性毒性

- 目に入った場合 : 粉塵は気道に炎症を起こす可能性があります。
- 吸入した場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 皮膚に触れた場合 : 粉塵は皮膚に炎症を起こす可能性があります。試験管内: 炎症は起こしません。増感剤としては期待されません
- 飲み込んだ場合 : 粉塵は目に炎症を起こす可能性があります。目、ウサギ: 類別には不十分です。

##### 過剰暴露の徴候/症状

- 目に入った場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる: 発赤、涙目、結膜炎。
- 吸入した場合 : 蒸気を吸入した場合: 金属蒸気による熱病は、インフルエンザに似た症状を起こします。これには発熱、悪寒、発汗、咳、鼻の炎症、胸の痛み、悪心、頭痛、嘔吐および筋力の低下が含まれます。
- 皮膚に触れた場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる: 皮膚炎、皮膚の乾燥、ひびわれ。
- 飲み込んだ場合 : 明確なデータは無い。

#### 必要に応じた速やかな医師の手当てと必要とされる特別な処置の指示

- 医師に対する特別注意事項 : 症状に対応した対処療法を行うこと。大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。
- 応急措置をする者の保護 : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
- 特定の治療法 : 特定の治療法はない。

有害性情報を参照(セクション11)

### 5. 火災時の措置

#### 消火剤

- 適切な消火剤 : 火災に応じた消火剤を使用する。
- 不適切な消火剤 : 認知済みのものは無し。

特定の危険有害性 : 特定の火災爆発の危険有害性はない。

有害な熱分解生成物 : 明確なデータは無い。

消防士用の特殊保護具 : 消防士は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェイス部分を備えた自給式の呼吸器具(SCBA)を装着しなければならない。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

- 緊急時要員以外の人員用** : 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。  
**緊急時の責任者用** : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報を注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

- 環境に対する注意事項** : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

### 封じ込めおよび洗浄に関する方法および材料

- 少量流出** : 物質を吸い取るか拭き取り、ラベル表示した廃棄容器に収容する。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。  
**大量流出** : 下水溝、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。物質を吸い取るか拭き取り、ラベル表示した廃棄容器に収容する。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。注意: 接触時の情報はセクション1を、廃棄処理はセクション13を参照して下さい。

## 7. 取扱いおよび保管

- 安全に取扱うための注意事項** : 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。

- 安全に保管するための注意事項** : 現地法に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 許容濃度

#### 職業暴露限界

なし。

#### 推奨される測定方法

- : 当製品が暴露限界を有する物質を含む場合、個人、作業場の空気、あるいは生物学的なモニタリングを行い、換気等の管理手段の有効性、および呼吸器保護具を使用する必要性、あるいはそのいずれかを明らかにする必要がある。

- 適切な技術的管理** : 特別な換気設備は必要ない。全体換気装置は作業者が暴露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。

- 環境暴露管理** : 換気装置および作業工程装置からの排出物を検査し、環境保護の法律規制の要件に適合していることを確認しなければならない。

### 個人の保護措置

#### 衛生措置

- : 化学製品の取り扱い後は、食事、喫煙およびトイレの使用前および作業時間の最後に、必ず手、前腕および顔を洗う。

#### 保護眼鏡/保護面

- : 通常使用条件下では必要なし。暴露される恐れがあるときは保護めがねを装着する。推奨: 側方遮蔽のある保護眼鏡。

#### 皮膚の保護

##### 手の保護具

- : 通常使用条件下では必要なし。実施する作業に適した手袋を使用すること。

##### 身体保護具

- : 特別な保護衣は必要ない。

##### その他の皮膚保護具

- : この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

#### 呼吸器の保護具

- : 通常使用条件下では必要なし。使用する呼吸保護具は、既知もしくは予測される暴露量、製品の危険有害性、選択される呼吸保護具の安全作動限度に基づいて選択しなければならない。

#### 熱的危険有害性

- : 該当せず。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 外観

物理的状態	: 固体。[乾燥パウダー。]
色	: 白。
臭い	: 無臭。
臭気閾値	: データなし。
pH	: 10
融点	: データなし。
沸点	: データなし。
引火点	: データなし。
燃焼時間	: データなし。
燃焼速度	: データなし。
蒸発速度	: データなし。
引火性(固体、気体)	: データなし。
爆発(燃焼)限界の上限および下限	: データなし。
蒸気圧	: データなし。
蒸気密度	: データなし。
比重	: 2.36
溶解度	: 以下の物質に一部溶解する: 冷水 および 温水。
オクタノール/水分配係数	: データなし。
分解温度	: データなし。
SADT	: データなし。
自己発火温度	: データなし。
粘度	: データなし。

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
化学的安定性	: 製品は安定である。
危険な反応の可能性	: 通常の貯蔵および使用条件下で、有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	: 明確なデータは無い。
混触危険物質	: 酸(強酸) - 高反応性、熱生成によるもの。無水マレイン酸-マグネシウム化合物を含むアルカリおよび他のアルカリ土類化合物と接触すると、爆発的に分解します。リン-アルカリ水酸化物とともに熱水中で加熱すると、空気中で自発的に発火する可能性のあるホスフィン類が発生します。
危険有害な分解生成物	: 320° C以上でMgOとH <sub>2</sub> Oに分解します。揮発点まで過熱すると(1700° C以上)、酸化マグネシウムの蒸気が発生することがあります。

## 11. 有害性情報

### 毒物学的作用に関する情報急

#### 性毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	投与量	暴露時間
水酸化マグネシウム	LD50 経口	ラット	>2000 mg/kg	-

**有害性情報** : LC50吸入:技術的に実施可能な最高濃度、2.1 mg/Lエアロゾル(霧状、3.2 mm MMAD)で致死性は見られません。

#### 刺激性/腐食性



## 11. 有害性情報

**皮膚** : 利用できるデータがない。  
**眼** : 利用できるデータがない。  
**呼吸器系** : 利用できるデータがない。

### 感作

**皮膚** : 利用できるデータがない。  
**呼吸器系** : 利用できるデータがない。

### 変異原性

利用できるデータがない。

### 発がん性

利用できるデータがない。

### 生殖毒性

利用できるデータがない。

### 催奇形性

利用できるデータがない。

### 特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)

利用できるデータがない。

### 特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)

利用できるデータがない。

### 呼吸に対する危険有害性

利用できるデータがない。

**可能性のある暴露経路についての情報** : 予想される侵入経路: 眼, 皮膚, 吸入した場合。

### 起こりうる急性毒性

**目に入った場合** : 粉塵は気道に炎症を起こす可能性があります。  
**吸入した場合** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。  
**皮膚に触れた場合** : 粉塵は皮膚に炎症を起こす可能性があります。試験管内: 炎症は起こしません。増感剤としては期待されません  
**飲み込んだ場合** : 粉塵は目に炎症を起こす可能性があります。目、ウサギ: 類別には不十分です。

### 物理的・化学的および毒物学的な特性に関連する症状

**目に入った場合** : 有害症状には以下の症状が含まれる: 発赤, 涙目, 結膜炎。  
**吸入した場合** : 蒸気を吸入した場合: 金属蒸気による熱病は、インフルエンザに似た症状を起こします。これには発熱、悪寒、発汗、咳、鼻の炎症、胸の痛み、悪心、頭痛、嘔吐および筋力の低下が含まれます。  
**皮膚に触れた場合** : 有害症状には以下の症状が含まれる: 皮膚炎, 皮膚の乾燥, ひびわれ。  
**飲み込んだ場合** : 明確なデータは無い。

### 遅発性および即時性の影響ならびに短期および長期の暴露による慢性的な影響

#### 短期暴露

**潜在的な即時性作用** : データなし。  
**潜在的な遅発性作用** : データなし。

#### 長期暴露

**潜在的な即時性作用** : データなし。  
**潜在的な遅発性作用** : データなし。

### 健康への慢性効果の可能性

**概要** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。  
**発がん性** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。  
**変異原性** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。  
**催奇形性** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。  
**発育への影響** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。  
**生殖能力に対する影響** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

## 11. 有害性情報

### 毒性の数値化

#### 急性毒性の推定

利用できるデータがない。

### その他の情報

: 反復投与毒性 反復投与(28日)毒性(経口)(ラット): NOAEL(最大無毒性量)1000 mg/kg bw/日

## 12. 環境影響情報

### 毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	暴露時間
水酸化マグネシウム	EC50 >100 mg/l LC50 776 mg/l	藻類 魚類	72 時間 96 時間

### 残留性/分解性

製品 / 成分の名称	水中における半減期	光分解	生分解性
Magnesium Hydroxide Products (MagChem)	-	-	容易ではない
水酸化マグネシウム	-	-	容易ではない

### 生物濃縮の可能性

利用できるデータがない。

### 土壌中の移動性

土壌/水分分配係数(K<sub>oc</sub>)

: データなし。

移動性

: 残留性および分解性 生物難分解性。

### その他の悪影響

: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

## 13. 廃棄上の注意

### 廃棄方法

: 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。大量の老廃物質残渣は、下水設備を通して廃棄してはならず、適切な廃水処理施設で処理しなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

## 14. 輸送上の注意

	UN	IMDG	IATA
国連番号	規定なし。	規定なし。	規定なし。
UN正式輸送品目名	-	-	-
輸送危険有害性クラス	-	-	-
パッキンググループ	-	-	-
環境有害性	該当せず。	該当せず。	該当せず。

## 14. 輸送上の注意

使用者のための特別な予防措置	データなし。	データなし。	データなし。
追加情報	-	-	-

上記の分類法の免除を適用することもできる。

## 15. 適用法令

日本インベントリ	: 未確定。
その他の規定	: データなし。
製品特有の安全、健康および環境に関する法規	: この製品(その成分を含む)に適用される可能性のある特定の国および/または地域の規則は知られていない。

## 国際基準リスト

アジア太平洋	
アジア太平洋	はい
オーストラリア既存化学物質台帳(AICS)	はい
中国:既存化学物質台帳	はい
日本既存および新規化学物質(ENCS)	はい
韓国既存化学物質目録(ECL)	はい
ニュージーランド化学物質台帳(NZIoC)	はい
フィリピン化学品・化学物質台帳(PICCS)	はい
ヨーロッパ	
EEC国際化粧品原料台帳(INCI)	はい
EU REACH 規則-予備登録	はい
EU REACH 規則-登録済み	はい
ヨーロッパ既存商業化学物質台帳(EINECS)	はい
ヨーロッパ国際化粧品原料台帳(INCI)	はい
ドイツ水質危害クラス物質リスト	はい
スイスGIFTLISTE 1 (毒物リスト 1)	はい
北アメリカ	
カナダ国内物質リスト(DSL)	はい
アメリカ合衆国	
DOT沿岸警備隊バルク危険物質	はい
EPA殺虫剤不活性成分(PII)	はい
FDA一般に安全と認められる食品物質(GRAS)	はい
FDA優先権に基づく食品添加物評価(PAFA)	はい
高生産量化学物質(HPV)	はい
有害物質規制法(TSCA)台帳	はい
TSCA台帳更新規則(IUR)	はい
TSCAセクション8A-予備的評価情報規則(PAIR)	はい
国際リストおよびその他のリスト	
健康被害	はい
高生産量化学物質:ICCA	はい
高生産量化学物質:OECD	はい

## 16. その他の情報

## ヒストリ

発行日	: 2022/02/22
前作成日	: 2021/03/17

バージョン	: 3
作成者	: KMK Regulatory Services Inc.

## 注意事項

危険有害性の評価は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。すべての化学製品には、未知の危険有害性があるため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。